

42760

教科書文庫

4
290
32-1910
20000 71214

43
1910

Kodak Gray Scale

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

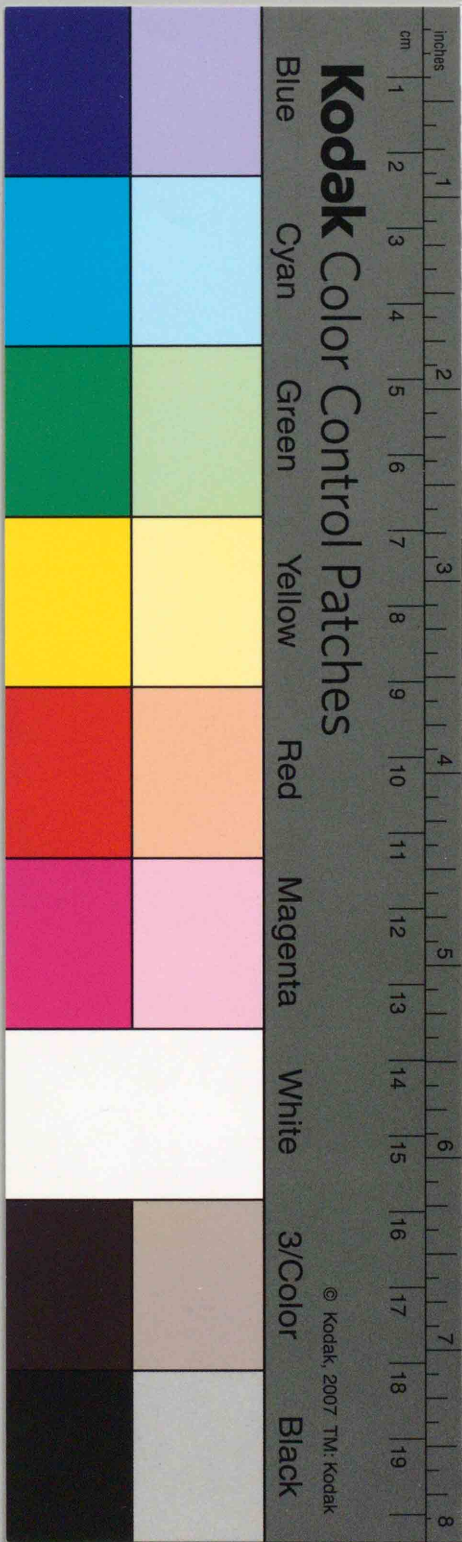


© Kodak, 2007 TM: Kodak

Kodak Color Control Patches

Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black

© Kodak, 2007 TM: Kodak



3b
290
明43

高等小學地理

卷一

兒童用

文部省



資料室



高等小學地理

兒童用

文部省

卷一



36
290
明43

目錄

第一	亞細亞洲	一
	總論	一
	亞細亞土耳其亞刺比亞	六
	印度	十八
	印度支那	二十三
	馬來群島	二十六
第二	大洋洲	二十八
	濠太刺利	二十八
	本洲の諸島	三十一
第三	歐羅巴洲	三十二
	總論	三十二
	露西亞	三十八
	獨逸	四十二
	佛蘭西	四十八
	西班牙葡萄牙	五十七
	伊太利	五十九
	瑞典諾威丁抹	四十
	奧地利洪牙利	四十五
	白耳義和蘭	五十一
	英吉利	五十四
	バルカン半島諸國	六十一
第四	亞弗利加洲	六十四
第五	北亞米利加洲	七十一
	總論	七十一
	加奈陀	七十六
	亞米利加合衆國	七十八
	墨西哥中央亞米利加諸國西印度諸島	八十二
第六	南亞米利加洲	八十四

高等小學地理卷一

兒童用

第一 亞細亞洲

總論

亞細亞は東半球の北部に在り。北は北氷洋に、東は太平洋に、南は印度洋に臨み、西は歐羅巴に續き、又僅にスエズ地峽によりて亞弗利加に連る。面積は世界陸地の凡そ三分の一を占め、六大洲中最も大なり。

本洲の中央部は土地一般に甚だ高くして、大いなる山脈高原多し。山脈の重なるものはパミル高原を中心として四方に走る。東南に走るはヒマラヤ山脈にして、脈中にエベレスト山あり、高さ凡そ三萬尺、世界第一の高山とす。東に向ふは

位置・面積

地勢

崑崙山脈にして、ヒマラヤ山脈との間に



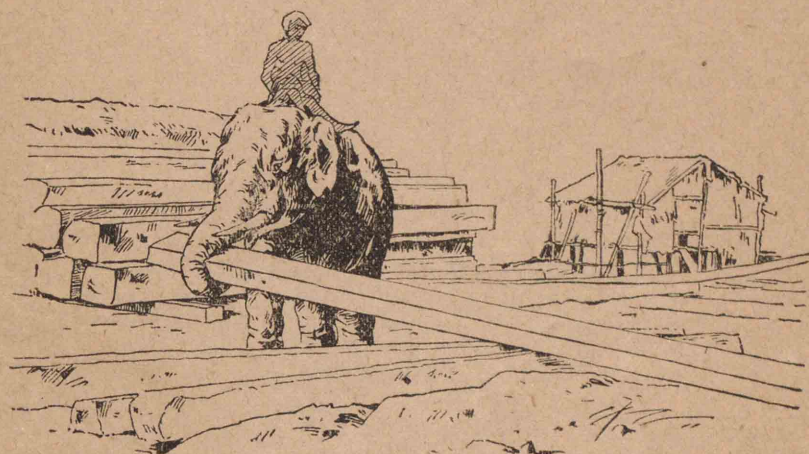
原高ルミバ

崑崙山脈の北には蒙古高原あり。ハミル高原の東北には天山アルタイ等の諸山脈相連る。又西南にはヒンヅークシ山脈連互せり。河は概ね中央部に發して四方に流る。黒龍江、黄河、揚子江は東に流れて太平洋に入り、ガンジス、インダスの二河は南に向ひて印度洋に入る。又オビエニセの二河は北に流れて北氷洋

氣候

に注ぐ。是等諸大河の流域には各廣き平野あり。海岸は太平洋及び印度洋の方面に於て出入殊に著し。太平洋方面にはカムチ、カ半島、朝鮮半島、印度支那半島等あり。其の海上には日本列島、馬來群島等ありて、オホーツク海、日本海、東支那海、南支那海等を圍む。又印度洋方面には印度半島突出し、其の西北には亞刺比亞半島ありて、亞弗利加との間に紅海を挾む。本洲は面積廣く、地勢複雑なるが故に、各地の氣候一樣ならず。中央部及び北部は寒暑の變化殊に甚だしく、北部平原の中には世界の最寒地と稱せらるる所あり。東南沿海の地方は一般に溫和なり。又東南部及び南部には降雨多く、中央部より西南部に至る一帯の地は降雨乏しくして、沙漠草地相

生物産物



象の木の材運搬

連れり。
生物は大いに氣候の影響を受けて、各地其の趣を異にす。南部は植物の成長盛にして、椰子樹、榕樹、チーク等の熱帯植物に富み、又象、猩猩、鱷、孔雀等の動物あり。南部より東南部にかけては米、茶等の農産物多し。内部の草地地方には馬、駱駝、羊等の牧養行はる。されど北方に至るに隨ひ、生物次第に種類を減じ、極北部には僅に矮小なる樹木及び

住民

苔の類を生じ、馴鹿、白熊等を産するに過ぎず。住民は其の數八億に餘りて、世界人口の過半を占め、多くは東部及び南部に住す。亞細亞人種に屬するもの最も多く、重に東部及び中央部に居り、歐羅巴人種之に次ぎ、印度半島及び其の以西に住す。馬來人種は其の數遙に少く、馬來群島を重なる住地とす。

宗教

本洲に行はるる宗教は其の重なるものを佛教、印度教、マホメト教、基督教とす。佛教は重に東部に行はれて、其の信徒甚だ多く、印度教は印度に、マホメト教は西部に盛なり。基督教は廣く各地に信徒を有すれども、其の數多からず。是等の宗教はいづれも本洲に起りて、世界の大宗教となりたるものなり。

區分

本洲の獨立國は我が國を除くの外、概ね專制國にして國勢甚だ振はず。其中、清國は本洲の東南岸より廣く内地に互れる地方を占め、其の面積甚だ大にして、凡そ本洲の四分の一に當る。此の外西南部には波斯あり、印度支那半島の中部には暹羅あり。我が國と是等の諸國とを除きては概ね西洋諸國の領土たり。其中、露西亞帝國の一部なる亞細亞露西亞は本洲の北部より西部に互りて、全洲の三分の一以上を占め、土耳其帝國の一部なる亞細亞土耳其は本洲の西南部に在り。英領印度は印度半島、印度支那半島の西部等を含み、佛領印度支那は印度支那半島の東部を占め、蘭領印度は馬來群島の大部分に互れり。

清國支那

面積

清國は普通に支那と稱せられ、面積凡そ我が國の十七倍に當れり。

地勢

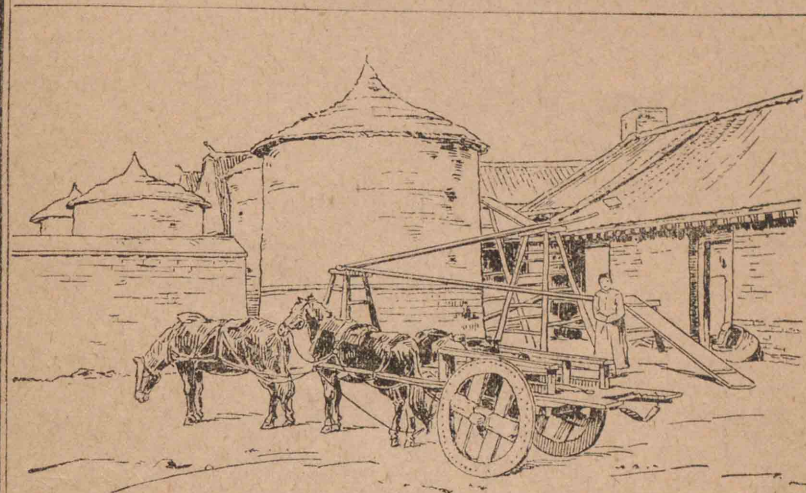
土地の大部分は山脈高原の占むる所なれども、黃河、揚子江等の下流地方には廣大なる平野あり。又其の南には珠江流域の平野あり、北には滿洲平野あり。是等の平野は一般に農業行はれて、國中の重要な部分をなす。海岸は渤海灣の遼東、山東の兩半島に抱かれたる外、大いなる出入なし。

産業

揚子江流域の平野及び以南の地方は氣候溫暖にして、雨量多く、米、茶等の産に富み、養蠶製絲の業亦盛なり。北部の平野は雨少く、寒暑の差稍大なれども、豆類、高粱等を産すること多し。又國內一般に豚の飼養行はる。

輸出品は生絲、絹織物、茶等、輸入品は綿絲、綿織物、阿片等を其

交通



の重なるものとし、英吉利及び其の領地を始め、日本、亞米利

加合衆國等との貿易盛なり。我

が國の重なる取引先にして、我

が國へは綿、豆粕、豆類を輸出し、

我が國よりは綿絲、石炭、マ、チ、綿

織物、水産物、砂糖等を輸入す。

高原地方は一般に交通不便な

れども、東部平原は水路、鐵道の

便多く、殊に揚子江流域は水運

甚だ便利にして、汽船は其の本

流の河口より溯ること約四百

五十里に及ぶ。又有名なる大運

大豆貯藏所

住民

河は揚子江、黄河等の下流を貫きて南北に通じ、長さ三百里に餘れり。鐵道は近年所所に敷設せられ、其の主要なるものは北京に起りて、一は南方揚子江沿岸の漢口に至り、一は東北に延びて我が南滿洲鐵道に連絡し、共に南北交通の幹線をなす。海運も漸く盛になりたれども、國人の自ら經營するものは尙多からず。

住民は其の數四億を超え、漢族、滿洲族、蒙古族、西藏族等數多の種族あり。其の最も多數を占めたる漢族は性質勤勉にして、殊に商業に通じ、又海外に出稼するもの甚だ多く、一般に男子は辮髪をなし、女子は纏足をなすの風習あり。滿洲族は其の數漢族に比して遙に少けれども、政治上の勢力は之に譲らず。教育は未だ普及せざれども、近時漸く先進國に倣ひ

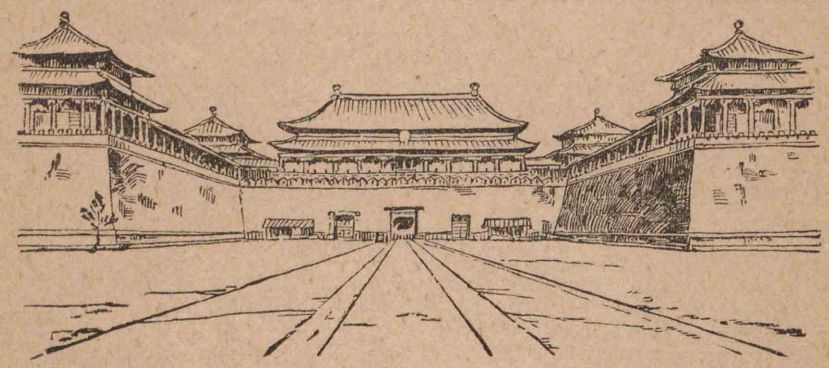
政治



八省(滿洲三省)新疆(二省)を直省とし、蒙古青海西藏を藩部とす。直省には總督又は巡撫を置き、藩部には特別の官吏を駐在せしむ。

て各種の學校を設立し、又是等の國に多數の留學生を送るに至れり。
支那は共和にして大統帥を尊ぶるに於て、中央政府には軍機處、內閣、及外務部、民政部、度支部、陸軍部、法部、農工商部、學部、郵傳部等あり。地方を直省と藩部とに分つ。支那本部(十

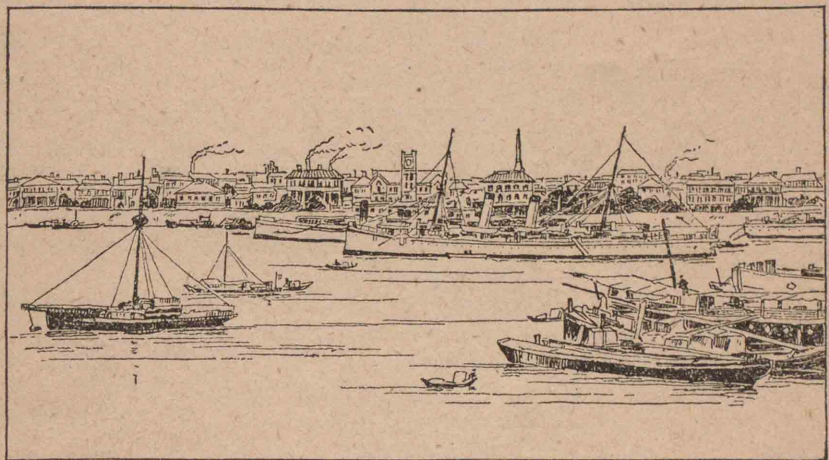
支那本部 北部



北京皇城の門内

支那本部は地勢上、北中、南の三部に分たる。北部は黄河、白河等の流域に屬し、國中の最も早く開けたる地方なり。北京は此の國の首府にして、白河の流域に位す。市街は内城及び外城の二部に分れ、内城には皇城、官衙あり、外城には商店多し。天津は白河の下流に臨みて、北京の咽喉に當り、北部第一の貿易港なり。芝罘は山東半島の北岸に位する要津にして、其の東に英吉利の租借地なる威海衛あり、日清戰役を以て名高し。又半島

中部



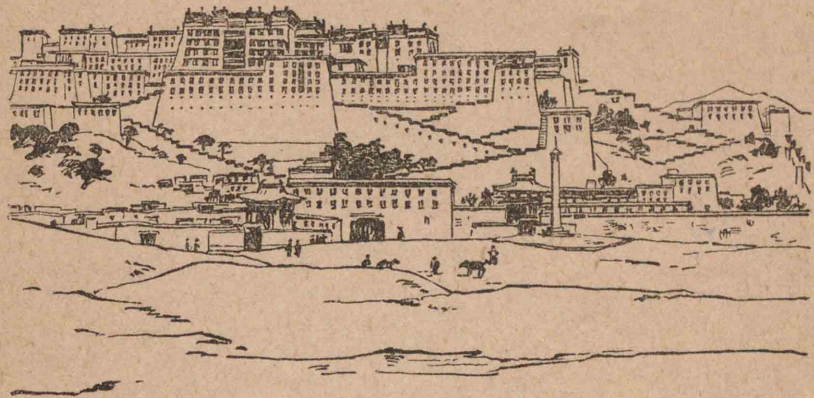
上海の埠頭

の南岸には獨逸の租借地なる膠州灣あり。黄河の流域には歴史上有名の都會多く、中にも西安(古の長安)は今尚一大都會をなせり。萬里長城は遼東灣の西岸に起り、略支那本部の北邊に沿ひて西方に走ること凡そ八百里、大運河と共に支那古代の二大工事として有名なり。中部は重に揚子江の流域に屬し、産業上此の國の最も重要な部分にして、繁盛なる都會多

南部

し。揚子江の河口に近き所に上海あり、此の國第一の貿易港にして、生絲・綿茶の輸出、綿布・綿絲・阿片の輸入多し。上海の西に蘇州あり、西南に杭州あり、共に多く絹織物を産す。揚子江の下流に臨みて江寧あり、一に南京と稱し、史上に名高き所なり。揚子江の中流に臨みて漢口あり、對岸の武昌・漢陽と共に内地商工業の一大中心たり。中にも漢口は茶の輸出を以て著る。武昌の東南には大冶鐵山あり、我が國の製鐵事業は多く原料を此に仰ぐ。重慶は揚子江上流地方の要津にして、其の西北なる成都は多く絹織物を出す。南部は重に珠江の流域及び臺灣海峽に臨める地方なり。珠江の下流に廣州あり、一に廣東といふ。南部の大都會にして、生絲・絹織物の輸出多し。廣州の東南近海に英領なる香港あり。

蒙古新疆
青海西藏



拉薩の喇嘛教殿堂

り、東洋貿易の一大中心たり。臺灣海峡に面して福州・廈門あり、我が臺灣との交通盛なり。蒙古・新疆・青海・西藏は支那本部の北より西に亙れる高原地方を占む。土地廣けれども、人口少し。住民は重に蒙古・西藏の兩族にして、佛教の一派なる喇嘛教を奉じ、概ね牧畜を業とす。庫倫は蒙古の北部に於ける商業の中心にして、喇嘛教の寺院多し。拉薩は西藏の中部に在り、

沿革

宏壯なる喇嘛教大本山のある所にして、其の教主は西藏に於ける政治上の實權を握れり。

支那は世界中最も早く開けたる地方の一にして、古來王朝の興廢甚だ繁く、國號屢變じたり。今の清朝は凡そ三百年前、滿洲より興り、遂に全國を一統したるものにして、其の國運一時隆盛を極めたり。後屢外交をあやまり、凡そ七十年前、英吉利と戦ひて香港を失ひ、其の後露西亞に東北境の地を割き、日清戦役には臺灣を我に譲り、次いで海岸の諸要地を諸強國の租借地となすに至りしが、近年は我が國及び西洋諸國の制度に倣ひて種々の改革を施し、以て大いに國運の發展を圖れり。が國內に紛亂起り、青國皇位を退きて遂に今ノ支那共和國文王ニ至

亞細亞露西亞

區分

亞細亞露西亞は分ちて西比利亞^{シベリヤ}・中亞細亞^{チュウアシア}・コーカシヤの三部とす。

西比利亞
位置・面積
人口

西比利亞は廣大なる亞細亞北部の地域を占め、面積凡そ我が國に十九倍すれども、人口は凡そ我が國の十分の一に過ぎず。

地勢・産業

地勢西北に開けて、其の低き地方は西比利亞平原をなす。西にはウラル山脈ありて歐亞の境をなせども、傾斜概ね緩なるが故に交通を妨ぐるること大ならず。平原の北半は盛夏の外、地面凍結して農業に適せざれども、中部以南には森林・沃野ありて麥類・毛皮等を産す。又太平洋の沿岸は鱒・鮭等の好漁場にして、本邦人の出漁するもの少からず。

都邑

浦潮斯德^{ウラヂオホスヒク}は日本海に臨み、冬は港内凍結して船舶の出入不



西比利亞北部の土人

便なれども、軍港と商港とを兼ね、東部西比利亞中最も重要な地にして、我が敦賀・長崎等との間に定期航海の便あり。西比利亞鐵道は此の地を起點とし、東清鐵道に連り、西比利亞の南部を経て、遠く歐羅巴に通ず。イルクツク及びトムスクは此の地方の重要な都會なり。

中亞細亞

中亞細亞は域内概ね沙漠草地にして鹹湖多く、中にもコーカシヤとの間なる裏海は世界の最大湖なり。

コーカシヤ

コーカシヤはコーカサス山脈其の中央に亙り、南北二部に分る。裏海に臨みてバクアーあり、附近に多く石油を産す。

亞細亞土耳其亞刺比亞

位置・地勢

亞細亞土耳其は地中海と黒海との間に突出する小亞細亞半島及び其の附近の地を占め、更に延びて亞刺比亞半島の東西兩海岸に及ぶ。北部は高原にして、其の東南なる平野はチグリス・ユーフラト兩河の流域に屬し、太古早く開けし所なり。亞刺比亞半島は一大高原にして、概ね沙漠をなす。内地には所所に部落ありて、各酋長を戴き、遊牧を業とす。

都邑

小亞細亞半島の東南、地中海に面する地方は亦太古早く開

波斯・アフガニスタン・ベ
ルチスタン



船渡と河スリグチ

けし所にして、海岸に近き高地にエルサレムあり、基督の墓あるを以て名高し。紅海沿岸の土耳其領内にメヂナあり、マホメットの墓あるを以て知らる。又紅海の入口に近きアデンは英吉利に屬し、航海上の要地なり。

イラン地方

イラン地方は一般に高原にして、内地には沙漠多く、

波斯・アフガニスタン・ベルチスタンの三部に分たる。波斯及びアフガニスタンは英露兩勢力の間に在りて、僅に獨立を保ち、ベルチスタンは全部殆ど英吉利に屬す。波斯の首府をテヘランといふ。

印度

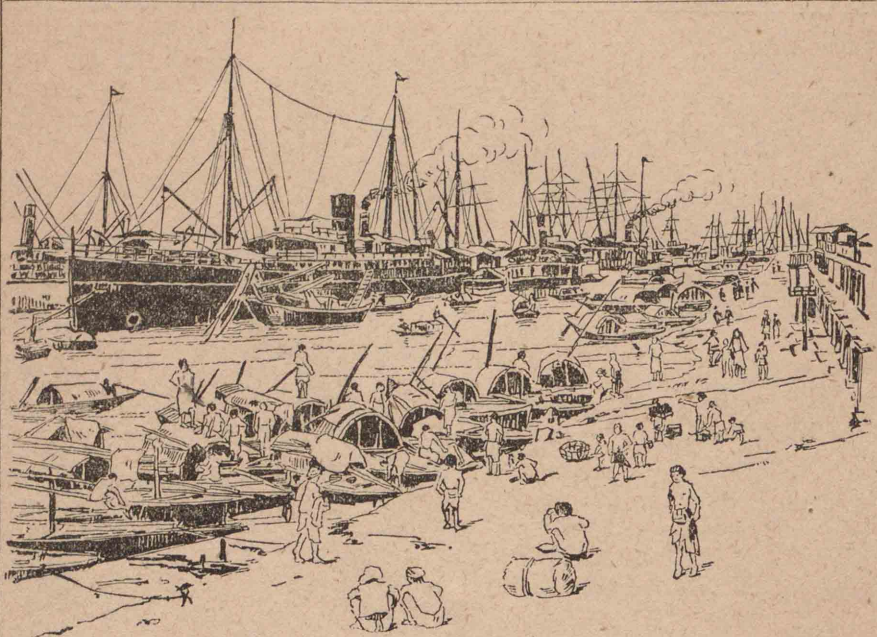
位置・面積
人口

印度は印度半島及び其の附近の地を占め、面積は我が國の約六倍、人口は我が約四倍にして、英領中最も重きを置かるる所なり。

地勢・産業

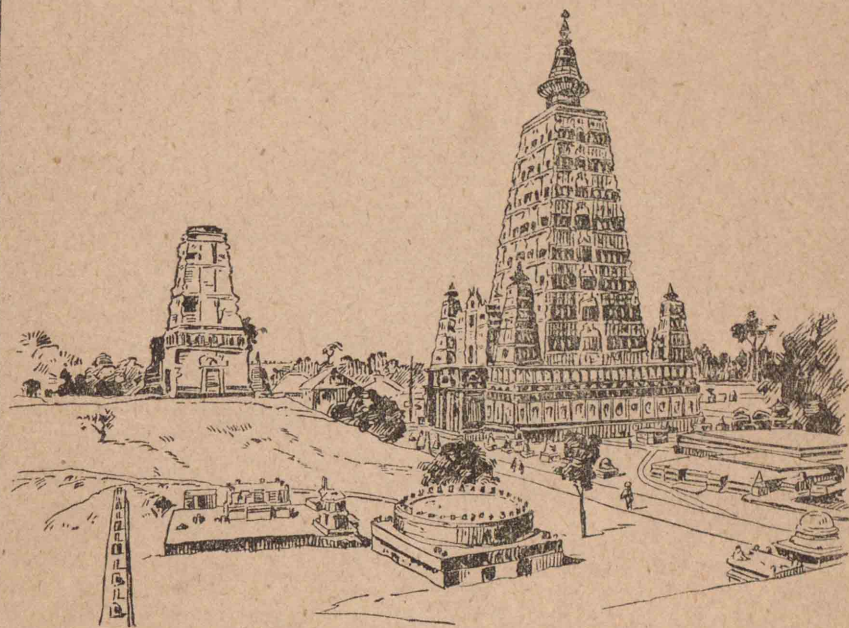
北部にはヒマラヤ山脈、南部にはデカン高原あり。其の間はガンジス・インダス兩河の流るる所にして、概ね肥沃の平野をなし、米・麥・阿片等の農産物に富み、印度の最も重要な部分たり。デカン高原は多く綿を産し、我が國の綿絲は重に原

都邑



カ
ル
タ
の
埠
頭

料を此に仰ぐ。ガンジス河の下流以東の地及び半島の南端に近きセーロン島には茶を産すること甚だ多し。外國貿易は頗る盛にして、我が國との取引も次第に増加し、我が國へは主として綿を輸出し、我が國よりは羽二重及び綿メリヤスを輸入す。ガンジス河の下流地方



釋迦の遺蹟

にカルカッタあり、英領印度の首府にして、貿易盛に行はる。ペナレスはガンジス河の主流に臨み、印度教の靈地として著れ、其の東方のガヤは近傍に釋迦の遺蹟あるを以て名あり。又デリーはガンジス河の上流に位し、内地商業甚だ盛なり。孟買ほんべいはデカン地方

沿革

の西岸に在る貿易港にして、綿の輸出甚だ多く、我が國との間にも定期汽船の往來あり。東南岸のマドラスも亦著名の貿易港なり。コロンボはセーロン島の西南岸に在り、印度洋航海の要路に當る。

印度は文化夙に開け、佛教の開祖、釋迦の出生地として有名なり。四百餘年前、葡萄牙人ぼるとがるの來航せし以來、歐羅巴諸國より此の所に來るもの多かりしが、中にも英吉利人最も勢力を得て、遂に其の政權を握るに至れり。

印度支那

印度支那は印度支那半島の地にして、其の南に延びたる所を馬來半島とす。數條の山脈略南北に連り、數多の河流、其の間を流れて、沿岸に肥沃の平野あり。是等の平野は米を産す

位置地勢
産物

區分

ること頗る多く、我が國にて南京米と稱するもの概ね是なり。山地はチーク其の他の木材を産す。域内を分ちてビルマ、暹羅、佛領印度支那、海峽殖民地の四部とす。

ビルマ

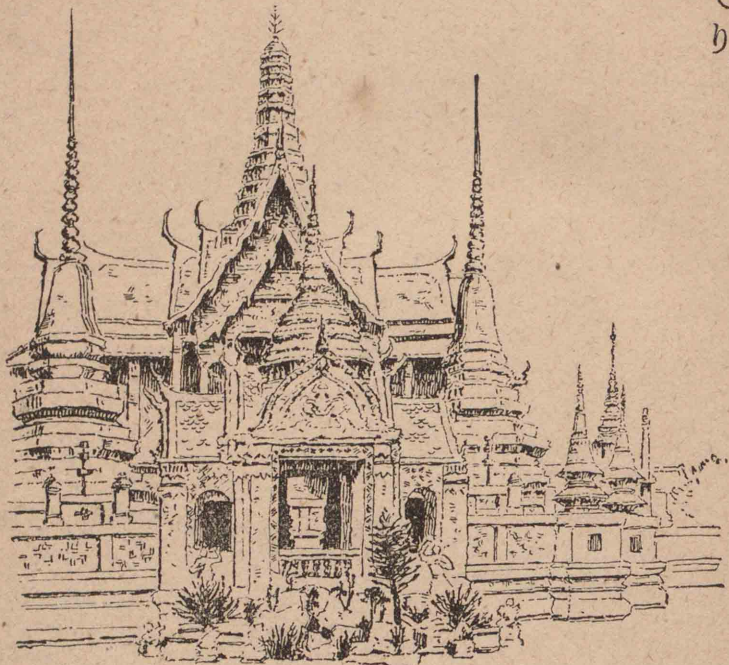
ビルマは印度支那半島の西部を占め、其の海岸に近くラングーンあり、米の輸出甚だ盛なり。ビルマはもと一の獨立國なりしが、英國の侵略を受けて國遂に亡び、今や英領印度の一部となれり。

暹羅

暹羅は面積殆ど我が國と等しけれども、人口凡そ七百萬に過ぎず。首府盤谷は米木材を輸出すること多し。此の國は我が徳川時代の初に當りて、山田長政の武勇を現せし所なり。其の後屢興廢ありて、今の王朝は百二十餘年前に起り、近時

佛領印度支那

先進國の文明に倣ひて國政の改良を圖り、獨立の體面を保てり。



暹羅の宮殿

佛領印度支那は中部に山地多けれども、南及び北の一部に平野あり。北部平野のハノイは首府にして、南部平野のサイゴンは多く米を輸出す。佛領印度支那の地にはもと安南、カンボヂヤ等

海峽殖民地

の獨立國ありしが、屢佛國の侵略を受け、いづれも其の勢力の下に立つに至れり。
海峽殖民地は馬來半島の南部に在り、英吉利に屬す。首府シ
ンガポールは東西交通の要點に當り、貿易甚だ盛なり。

馬來群島

位置地勢
氣候產物

馬來群島は亞細亞大陸の東南に在りて、大小の島嶼甚だ多
く、中につきてボルネオ島最も大なり。群島には火山に富め
る島多く、又熱帯中に在れども、海洋の影響大いに暑氣を和
らぐ。砂糖・煙草・護謨・珈琲・香料・籐等の產物に富み、又石油を産
すること多し。

區分都邑

馬來群島は概ね和蘭の領地なれども、ボルネオ島の北部は
英吉利に屬し、其の東北なるフリピン群島は亞米利加合衆

國に屬す。ボルネオ島
の南なるジャバ島は和
蘭領中最も開けたる
所にして、其の北岸に
首府バタビヤあり、砂
糖・珈琲の輸出頗る多
し。フリピン群島中最
も大なるはルソン島
にして、其の西岸に首
府マニラあり、多くマ
ニラ麻・砂糖・煙草等を
輸出す。此の群島はも



工 細 籐

と西班牙いすぱにやに屬せしが、近年亞米利加合衆國の領地となれり。

第二 大洋洲

位置・區分

大洋洲は亞細亞の東南なる濠太刺利大陸おほたしとらりやと、其の附近より東方に互りて太平洋中に散布する諸島とより成り、其の大部は赤道の南に位す。

濠太刺利

面積・人口

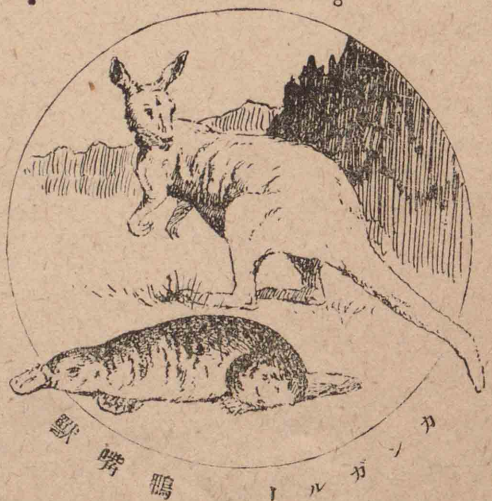
濠太刺利は一に濠洲がうしゅうと稱す。面積凡そ五十萬方里、人口凡そ四百萬を有し、大陸中の最小なるものにして、全部英吉利に屬す。

地勢・氣候・產物

地勢は概ね内地に低く、周邊に高く、山脈は東南岸に沿へるもの最も大なり。海岸は一般に出入に乏しく、島嶼はタスマ

都邑

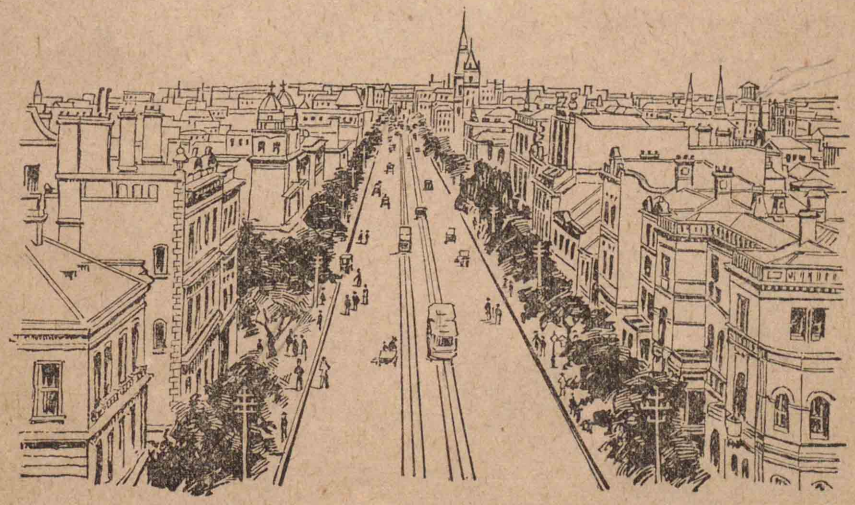
ニヤ鳥を重なるものとす。東南部は氣候溫和なれども、内地は寒暑の差甚だしく、廣き沙漠をなせり。固有の珍しき動植物に富み、カンガルかものほし、鴨嘴獸かものはし、ユーカリ樹等其の著しきものにして、原種を歐羅巴より移したる主要の產物には牛、羊、小麥等あり。又多く金、銀、石炭を産す。中にも金は羊毛と共に世界屈指の巨額に上れり。



メルボルン、シドニーの二港は共に東南岸に在り、貿易盛に行はれ、又我が國汽船の航路に當れり。東北岸に近く木曜島あり、本邦人の在留して眞珠貝の採取に従事するもの少か

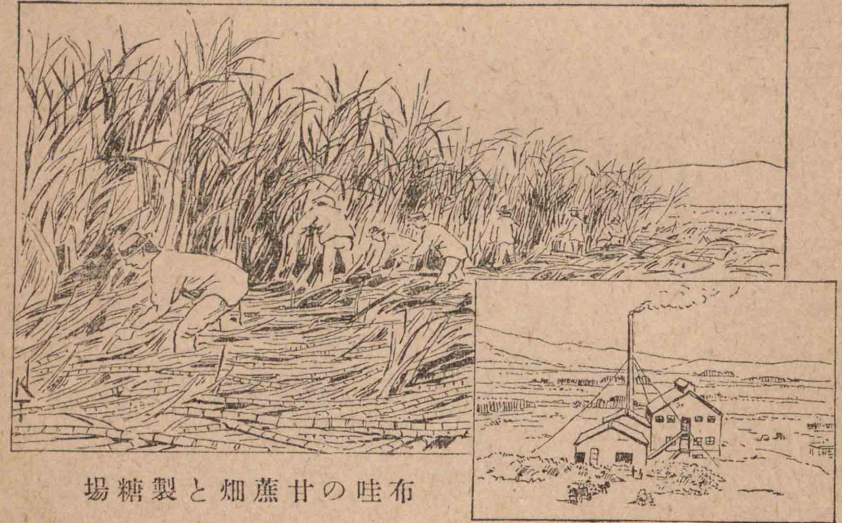
沿革

らず。
 濠太刺利は西班牙・和蘭兩國
 人の始めて探検せしより漸
 く世に知らるるに至りしが、
 百二十餘年前より英吉利人
 奮つて之が探検殖民に従事
 し、遂に之を占領せり。殊に五
 十餘年前、金鑛の發見せられ
 しより、土地大いに開け、人口
 繁殖して、數箇の殖民地成立
 するに至り、近年各殖民地相
 聯合して聯邦を組織し、假に



街市のメルボルメ

面積人口
 地勢氣候
 區分



場糖製と畑蔗甘の哇布

中央政府をメルボルンに置け
 り。

本洲の諸島

本洲の諸島は其の全面積凡そ
 八萬方里、總人口凡そ三百萬あ
 り。諸島は往往高き火山を戴き、
 或は低き珊瑚礁より成る。多く
 は熱帯中に在れども、海風の影
 響を受くるが故に暑熱甚だし
 からず。諸島悉く歐米諸國の分
 領する所にして、其の重なるも
 のをパプア(一名ニューギニア)ニ

ニュー
ジ
ー
ラ
ン
ド
布
哇
諸
島

一、ジールランド及び布哇諸島とす。
ニ、ジールランドは濠洲の東南海中に在り、南北の二島より成り、英吉利に屬す。羊毛、凍肉等の輸出多し。布哇諸島は本洲の東北部に在り、亞米利加合衆國に屬す。氣候溫暖にして、多く砂糖を産し、本邦人の在留するもの甚だ多く、重に甘蔗の耕作に従事す。ホノルル港は太平洋航路の要津たり。

第三 歐羅巴洲

總論

位置・面積

歐羅巴は東半球の西北部に位し、東は亞細亞に連り、北は北氷洋に臨み、西は大西洋に面し、南は地中海を隔てて亞弗利加に對す。面積は凡そ六十四萬方里にして、亞細亞の略四分

地勢

の一に當る。

本洲は海岸の出入極めて多く、島嶼トランドに富む。北にはスカンヂナビヤ半島ありてバルチック海を抱き、西には英吉利諸島ありて、北海及び英吉利海峡によりて大陸と隔つ。南にはイベリヤ、伊太利イタリア、バルカンの三半島あり。イベリヤ半島は大西洋と地中海との間に突出し、其の南端は亞弗利加に迫りて地中海の咽喉を扼す。伊太利半島は地中海の中部に突出し、其の南端に近くシシリー島あり。又バルカン半島はアドリヤ海を隔てて伊太利半島の東に位し、其の東南は小亞細亞半島に迫りて地中海と黒海とを分つ。
本洲の西南部より南部にかけては山脈多く、其の他の地方はスカンヂナビヤ半島を除くの外、全部殆ど廣き平原をな



アルプ山中の一高峰

派東北に延びてカルパチヤ山脈となり、他の一派は伊太利半島に續きてアペニン山脈となる。河流は概ね西南部の山地と東部平原の中部とに發す。西南

す。山脈の最も著しきものはアルプ山脈にして、脈中のモンブランは高さ凡そ一萬六千尺、本洲第一の高山なり。アルプ山脈の一

氣候

産業

部の山地より出づるものにはダニューブ・ライン・エルベ等あり。ダニューブ河は東流して黒海に入り、ライン・エルベの兩河は北流して北海に注ぐ。東部平原の中部より出づるものにはボルガ河あり、南流して裏海に注ぐ。

本洲は大部分北温帯に位すれども、東西によりて大いに氣候の趣を異にす。大西洋沿岸の地は海洋の影響を受くること著しく、他の同緯度の地よりも頗る温和にして、スカンデナビヤ半島の西北岸の如きも、冬季凍結の虞なし。されど西より東に至るに隨ひ、寒暑の差一般に増加し、東部平原の如きは冬季河水悉く凍結す。

本洲は一般に土地よく開けて麥類・甜菜・葡萄等の農産物に富み、牧畜も亦廣く行はれて牛馬等を産すること多し。然る

交通

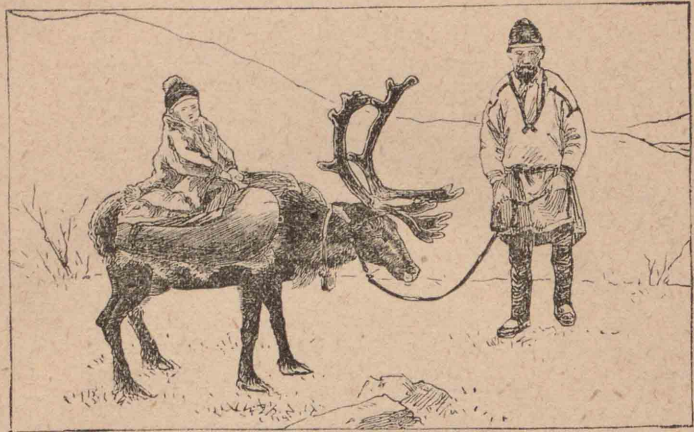
住民

に是等の産物は尙本洲の需要を充すに足らずして、他の大洲より其の供給を仰ぐこと甚だ大なり。されど西部地方は鐵及び石炭に富み、商工業大いに發達して、工業品につきては世界の重なる供給地たり。

各種の交通機關著しく發達し、陸には鐵道の敷設普くして、アルプ山脈にも數條の大トンネルを通じ、河流は運河によりて連絡せらるるもの多く、交通の便を助くること大なり。海岸には良港多くして船舶の往來繁く、世界の港として有名なる所少からず。

住民は其の數四億に及び、密度に於ては六大洲中第一に位す。東南部及び北部には亞細亞人種に屬するものあれども、多くは歐羅巴人種に屬せり。宗教は基督教主として行はる

區分



極北部の土人

れども、バルカン半島地方にはマホメト教を信ずるもの少からず。又本洲は教育一般に普及し、學術・技藝の研究盛にして、六大洲中最も文明の進歩せる所なり。

本洲には大小の獨立國甚だ多くして、其の數二十餘に及ぶ。東部に露西亞あり、其の西に接して獨逸及び奧地利、オーストリア洪牙利あり。西部には佛蘭西、英吉利の二國、南部には伊太利あり。いづれも國勢盛に於て、歐羅巴の六大強國と稱せらる。其の他スカンヂナビヤ半島は瑞典、スウェーデン諸威の二國に分れ、

北海沿岸には和蘭・白耳義の二國相並び、北海とバルチック海との間には丁抹てんまろく、アルプ山中には瑞西すいすあり。又イベリヤ半島は西班牙・葡萄牙の二國に分れ、バルカン半島には土耳其きり、希臘等あり。本洲の諸國は皆立憲政體にして、佛蘭西・瑞西等の共和國を除きては皆君主國たり。英吉利・佛蘭西・露西亞獨逸・和蘭・白耳義等は他洲に廣き領土を有せり。

露西亞

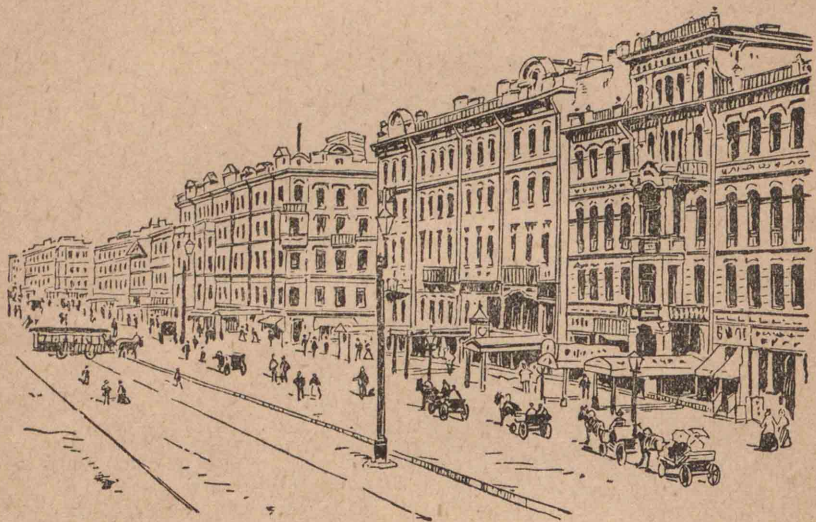
露西亞は歐羅巴の二分の一以上の面積を占め、人口凡そ一億二千五百萬あり。亞細亞露西亞を併せて、露西亞帝國を形成し、其の全面積は凡そ我が國の三十三倍に當る。

地勢一般に平坦なれども、中部には略、東西に互りて稍、高き所あり。河流の重なるもの源を此の所に發して、緩かに南又

面積人口

地勢・産業

都邑



街市の堡得彼

は北に流れ、水運の利に富む。此の國は本洲第一の農業國にして、北氷洋に沿へる地方は凍原をなせども、其の南には森林連り、更に其の南には農業・牧畜盛に行はれて、麥類・麻牛・馬等の産出多し。又ウラル山脈は貴金屬を産するを以て名高し。首府彼得堡ペートルブルグはバルチック海の一灣に臨み、貿易盛に行はる。灣内のクロナスタトはバル

沿革

チク艦隊の根據地として有名なり。モスコーは略國の中央に位し、此の國の舊都にして、内地交通の要路に當り、商工業盛なり。黒海に臨めるオデッサは南部の農産地を控へ、麥類を輸出すること甚だ多し。

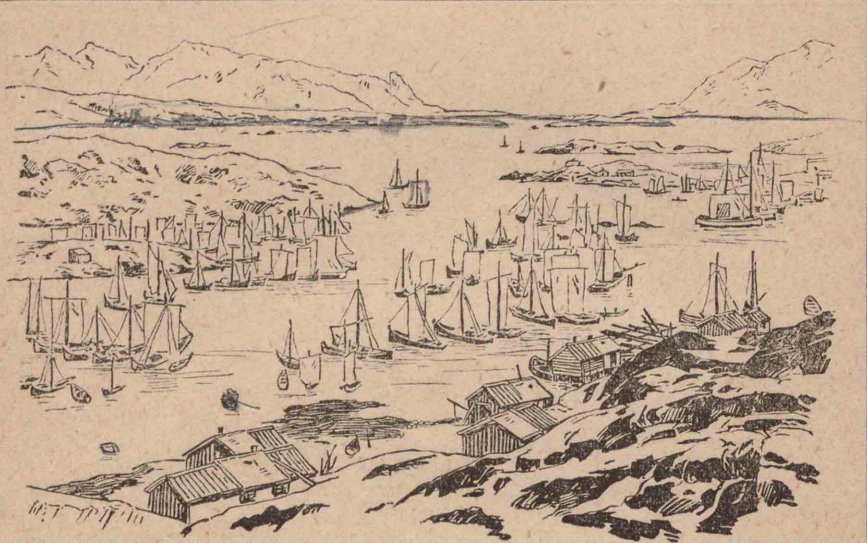
此の國は二百餘年前、ペートル大帝出でて都をモスコーより彼得堡に移し、内治を改良し、外征に成功せしより國勢漸く隆盛に赴き、其の後益地を四方に開き、遂に現今の如く世界の一強國として歐羅巴・亞細亞の兩大洲に互り、廣大なる版圖を有するに至れり。

瑞典・諾威・丁抹

瑞典・諾威

瑞典・諾威の二國はスカンヂナビヤ半島の脊梁をなせるスカンヂナビヤ山脈を界として相背けり。西側なる諾威の海

丁抹



船 漁 の 威 諾

岸は山岳直ちに岸に迫りて絶壁をなせども、出入甚だ多きを以て、舟泊の要地となれる所少からず。近海は漁業盛に行はる。兩國共に多く木材を産す。瑞典の首府をストックホルムといひ、諾威の首府をクリスチャニヤといふ。共に南部の海岸に在り。丁抹はバルチック海と北海との間に突出せる半島の北部と其の附近の島嶼とより成

り、スカンヂナビヤ半島と相對してバルチック海の門戸をなす。國內概ね低平にして、農業、牧畜盛に行はれ、牛酪の輸出甚だ多し。首府コペンハーゲンは東部の島上に在り、バルチック海出入の要地たり。
アイスランド島は大西洋の北部に在りて、此の國に屬す。島中に火山多く、又有名なる間歇温泉あり。

獨逸

位置、面積、人口

地勢

獨逸は歐羅巴の略中央に在りて、露、奧佛の三強國と界を接す。面積凡そ三萬五千方里、人口凡そ六千萬あり。
南部は山脈連亘して高地をなし、北部は歐羅巴大平原の一部にして、其の沿海の地は殊に低平なり。河流は概ね水量多く、運河によりて互に相通じ、ライン、ダニューブの如きは北海

産業

と黒海とを連絡する水路として重要なり。又キール運河はバルチック海と北海との交通を助くること甚だ大なり。
産業は頗る發達し、諸種の産物に富めり。農産物中、麥類、馬鈴薯、甜菜等は廣く栽培せられ、又ライン河畔は國中の最も溫暖なる所にして、殊に葡萄の産出に富む。林業は大いに進歩せるを以て甚だ有名なり。鑛産物は其の種類甚だ多く、中にも鐵、石炭の産出は世界屈指の巨額に上れり。工業は近時殊に盛大を極め、鐵製品、織物、ビール、砂糖を産すること夥しく、又多く化學工業品を出す。かくの如き産業の發達は、大いに外國貿易の進歩を促し、輸出入總額の多きこと英吉利に次ぎて世界第二位に居る。輸出品の重なるものは鐵材及び鐵製品、綿織物、毛織物等、輸入品の重なるものは綿羊毛、麥類等

都邑



柏林の市街

にして、英吉利・亞米利加合衆國・奧地利・洪牙利等との貿易甚だ盛なり。我が國との貿易も漸く盛にして、主として鐵材及び鐵製品、染料、毛絲等を我に輸出す。

首府柏林べりんは殆ど國の中央に位し、人口凡そ二百萬、學術・商工業甚だ盛にして、有名なる大學あり。エルベ河の下流に臨めるハンブルグは世界屈指の貿易港にして、上流に臨めるドレスデンは美術工藝品によりて知られ、ドレスデンの西北なるライプ

沿革

チヒは出版業の盛なるを以て著る。ミンヘンは南部の重要な都會にして、ビールビールの醸造を以て聞ゆ。

獨逸は二十餘の聯邦より成り、聯邦の一なる普魯西ぶろしやの國王兼ねて其の皇帝たり。普魯西には四十餘年前、ウルヘルム一世出でて政治兵制を改良し、外國との戰に屢、勝利を得しかば、遂に推されて獨逸皇帝の位に登り、是より國威大いに振ひて、内には教育・學術・商工の業盛に、外には廣き領地を占め、世界強國の一に數へらるるに至れり。

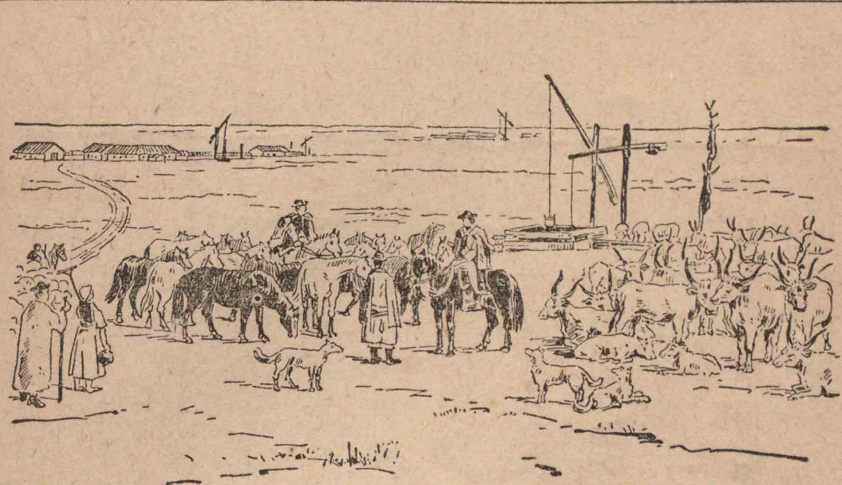
奧地利・洪牙利

位置・面積・人口

奧地利と洪牙利との二國は聯合して同一の君主を戴き、獨逸と共に歐羅巴の中部に位し、西南僅にアドリヤ海に臨む。面積凡そ四萬四千方里、人口凡そエチ四千七百萬あり。

地勢産業

都邑



場牧の原平利牙洪

西にはアルプ山脈、東にはカルパチヤ山脈ありて、其の間に廣き洪牙利平原を抱く。ダニューブ河は數多の支流を合せて國內を貫流し、交通の便を助くること甚だ大なり。産業は重に農業・牧畜にして、麥類・葡萄・牛・馬等を産し、殊に洪牙利平原は牧畜を以て名高し。工業は西部に盛にして、織物・酒類・砂糖・ガラス等を産す。

奧地利の首府維也納はダニュー

沿革

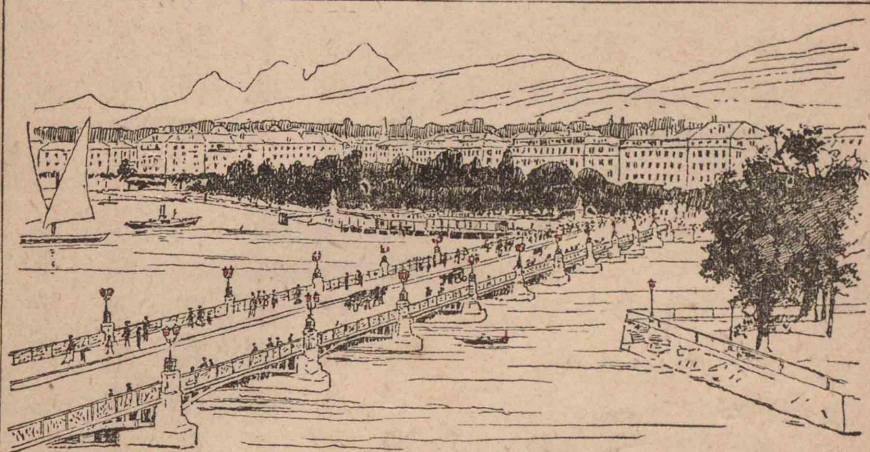
ブ河に沿ひ、市街甚だ壯麗なり。アドリヤ海岸のトリエストは有名なる貿易港なり。洪牙利の首府ブダペストはダニューブ河に跨り、洪牙利平原の中心市場たり。奧地利は嘗て獨逸聯邦の盟主たりしが、四十餘年前、普魯西と戦ひて大いに敗れ、是より全く獨逸聯邦との關係を離れ、次いで洪牙利王國と聯合して奧地利皇帝之に君臨し、以て現今世界強國の一たる奧地利洪牙利を形成するに至れり。されど聯合國内に數多の種族ありて、政治の統一上、頗る困難なる事情ありといふ。

瑞 西

瑞西は佛・獨・奧・伊四強國の間に位する小國にして、ライン・ローヌ諸河の源をなし、山岳高く聳えて雪を戴き、瀑布・湖水多

位置・地勢
産業

都邑



街市のプリネヅ

く、風景の美なるを以て聞ゆ。地勢一般に險しけれども、鐵道の便よく備れり。工業は水力を利用して盛に之を營み、精巧なる製造品を出す。又牧畜も一般に行はる。首府ベルンは國の西部に在り。東北部のチューリヒは重なる工業地にして、多く絹織物を産す。西南境のジュネーブはジュネーブ湖に臨みて風景に富み、時計の製造甚だ盛なり。

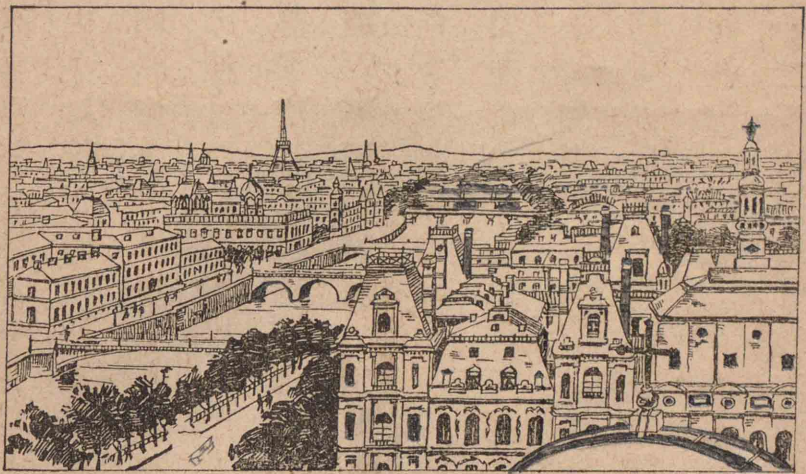
佛蘭西

位置・面積
人口

地勢・産業

都邑

佛蘭西は大西洋と地中海との間に挟まりて、西部歐羅巴の中央に位し、面積凡そ三萬五千方里、人口凡そ四千萬あり。國の中央より少しく東南に偏して一帯の山地あれども、其の他は概ね平坦にして、セーヌ河、ローヌ河等其の間を流る。農業盛にして麥類、葡萄等の産に富み、養蠶の業よく發達し、織物、釀酒、製鐵等の工業甚だ盛なり。又美術工藝品は殊に精巧を以て聞ゆ。輸出品の重なるものは織物、葡萄酒等、輸入品の重なるものは羊毛、綿生絲等にして、英吉利、獨逸、白耳義等との貿易盛に行はる。我が國との貿易も漸く盛にして、我が國よりは多く生絲、羽二重等を輸入す。首府巴里はセーヌ河に跨りて、周圍に城壁を繞らし、人口凡そ二百八十萬、市街の壯麗なること世界第一にして、美術工



街市の里巴

藝品の製造甚だ盛なり。セーヌ河口のルアーブルは此の國第一の貿易港にして、北境に近きリールは織物を産し、西南部のボルドーは多く葡萄酒を輸出す。ローヌ河の中流にリヨンあり、絹織物の業甚だ盛なり。地中海のマルセイユは此の國第一の貿易港にして、我が國汽船の航路に當る。其の東南海中にコルシカ島あり、ナポレオン第一世の生地として有名なり。

沿革

此の國は凡そ百二十年前、ナポレオン第一世出でて外征に成功し、國內の混亂を鎮めて遂に皇帝の位に登り、次いで全歐洲を併呑せんとせしも、業半にして果さざりき。其の後此の國は我が明治三年普魯西との戰に敗れし以來現今の共和政體を採るに至り、爾來教育を盛にし軍備を擴張して大いに國勢を挽回し、又海外の領地も増加して、世界強國の一に數へらる。

白耳義和蘭

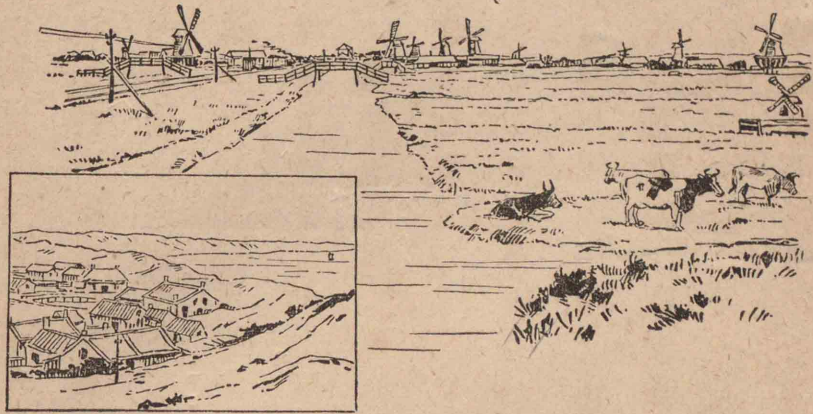
白耳義和蘭の二國は獨佛英三強國の間に位する小國にして、其の面積いづれも我が九州より狭けれども、人口甚だ稠密なり。

地勢概ね平坦にして、沿海の地方には海面より低き所多く、

位置・面積
人口

地勢交通

産業



和蘭の海岸

砂丘と堤防とによりて海水の侵入を防ぐ。域内を流るるライ
ン其の他の河流は數多の運河
によりて相連絡し、又鐵道の敷
設普くして交通甚だ便利なり。
和蘭の水運の便に富めると、白
耳義の面積に比して鐵道の長
きとは、他に比類稀なる所なり
とす。
和蘭は農業・牧畜共に發達して、
殊に牧畜は重なる富源をなし、
多く牛酪・乾酪等を産す。白耳義

都邑

は鐵・石炭の産出に富み、機械・ガラス・織物等の製造盛に行は
る。又此の二國は商業頗る盛にして、其の貿易額の多きこと
世界屈指の地と稱せられ、白耳義の鐵材・板ガラスは我が國
に輸入せらるること少からず。

白耳義の首府ブルッセルは國の中央に位し、市街華麗にして
小巴里の名あり。アンベルスは其の北方に在り、著名の貿易
港にして、我が國汽船の航路に當れり。

和蘭の首府ハーグは西部海岸地方の略、中央に在り。其の東
北なるアムステルダムはライン河の下流に臨めるロッテル
ダムと共に著名の貿易港たり。

沿革
和蘭・白耳義の二國は古來相分合すること屢なりしが、約八
十年前遂に分離して各、獨立王國となり、以て今日に及べり。

是より先、和蘭は大いに航海の業を勵み、東洋の貿易一時其の掌中に歸せしことあり。後漸く衰へたりといへども、今尙馬來群島等に廣き領地を有す。白耳義も亦亞弗利加に廣き領地を有せり。

英吉利

位置・面積・人口

英吉利は大ブリテン・アイルランドの二大島と數多の島嶼とより成れる島國なり。面積は凡そ二萬方里、人口は凡そ四千五百萬にして、共に我が國に及ばざれども、其の領地を合すれば面積は世界陸地の凡そ五分の一を占め、人口は約四億に及べり。

地勢

此の國は一般に山地多けれども、東南部には廣き平野ありて、テームス河此の中を流る。海岸は頗る出入に富み、河口概

産業

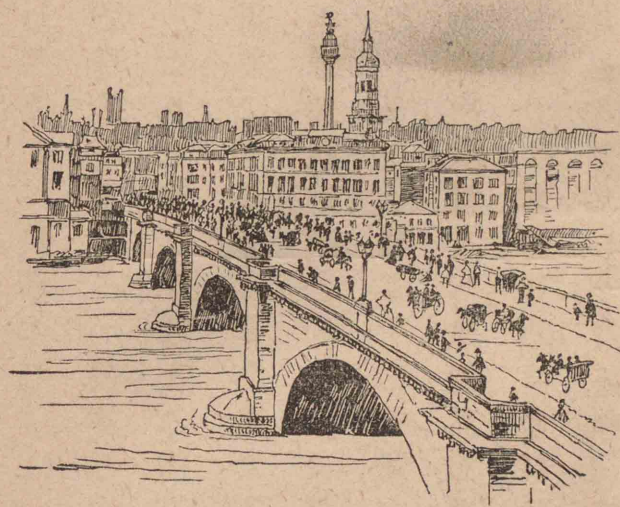
ね深くして良港多し。

各種の産業總べて發達し、中にも殊に盛なるは工業と商業となり。工業は豊富なる鐵・石炭を利用して大いに之を營み、商業に至りては其の盛なること世界無比にして、輸出入の年總額我が國の約十倍に達し、商船の噸數凡そ世界の二分の一を占め、到る所に航路を開けり。輸出品の重なるものは綿織物、鐵材及び鐵製品、石炭、毛織物等にして、輸入品の重なるものは麥類、其の他食料品、綿羊毛等とし、亞米利加合衆國、印度、佛獨等との貿易甚だ盛なり。我が國の重なる取引先にして、我が國へは鐵材及び鐵製品、綿織物等を輸出し、我が國よりは羽二重銅等を輸入す。

都邑

首府倫敦ロンドンはテームス河の下流に跨り、人口四百八十萬、接續

市街を合すれば人口七百三十萬を超え、世界第一の都會にして、又世界商業の一大中心たり。海路は我が横濱より凡そ六十日の航程なれども、西比利亞鐵道を利用せば十六七日



倫敦橋

にて達するを得べし。倫敦の北方なるケンブリヂ及び西方なるオックスフォードは有名なる大學の所在地、英吉利海峽に臨めるポーツマスは此の國第一の軍港にして、其の西北に當れるカーチフは有名なる石炭の輸出港なり。中部なるリバプールは倫敦

沿革

に次ぐ貿易港にして、綿の輸入と綿布の輸出とを以て著れ、其の東のマンチスターは綿布製造の中心地、南方のバーミンガムは鐵工業の盛なる所なり。北部のグラスゴーは造船業を以て著れ、エジンバラは學術の盛なるを以て名高し。此の國は三百餘年前、西班牙の海軍を破りてより漸く勢力を得、遂に和蘭に代りて海上の權力を握るに至れり。かくて世界到る所に領地を開き、又大いに力を海事に用ひ、今や其の領地の廣き、海軍の強き、貿易の盛なる、いづれも列國の遠く及ばざる所なり。近年東部亞細亞及び印度の平和を確保せんが爲に我が國と攻守同盟を結ぶに至れり。

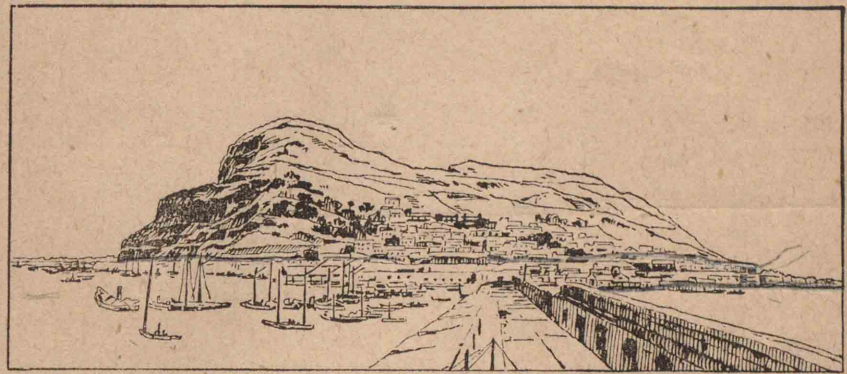
西班牙・葡萄牙

西班牙はイベリヤ半島大部の地にして、葡萄牙は大西洋に

位置地勢
産業

都邑

ジブラルタル



ジブラルタル

面する一地方を占め、半島内には數多の山脈ありて、一大高原をなす。内地は麥類・コルク等の産物多く、沿海の地は葡萄・オリブ等の果物よく生育し、葡萄酒の醸造盛に行はる。西班牙の首府マドリードは國の中央に位して交通の要路に當り、葡萄牙の首府リスボンは西海岸に位して著名の貿易港たり。ジブラルタル海峽に臨めるジブラルタルは英吉利に屬し、堅固なる砲臺ありて地中海の西口を扼す。

沿革

西班牙及び葡萄牙は夙に航海業の發達せし所にして、四百餘年前には海外に廣き領地を有し、其の國人は當時既に我が國にも來航して、通商の途を開きたりき。然るに和蘭・英吉利の漸く盛なるに隨ひて國勢次第に衰へ、多く其の領地を失ふに至れり。

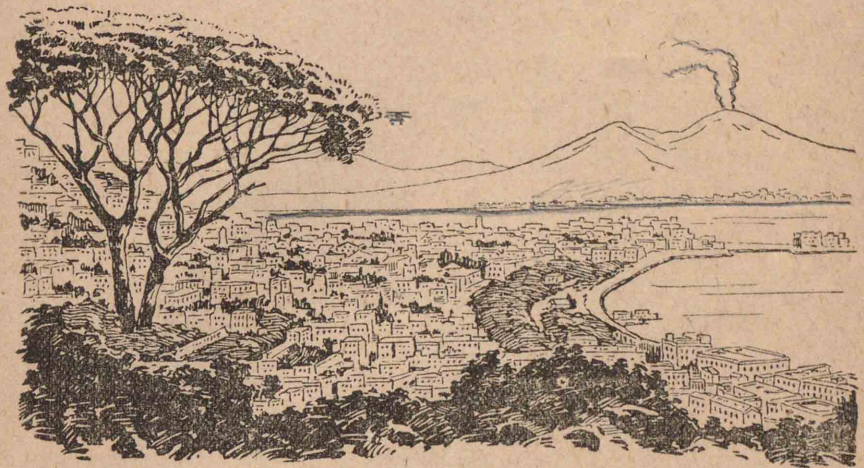
伊太利

位置・面積・人口

地勢・産業

伊太利は伊太利半島とシシリー・サルヂニヤ等の島嶼とより成り、面積凡そ一萬八千方里、人口凡そ三千四百萬あり。半島の脊梁をなせるアペニン山脈は更に延びてシシリー島に現れ、火山脈之に沿ひて走り、ベスピヤス・エトナ等の名高き火山あり。到る所山地多けれども、北部なるアルプ山脈とアペニン山脈との間には稍、廣き平野あり、國中の産業最

都邑



山火スヤピスベと街市のスルブーネ

も盛なる所にして、殊に養蠶業を最とし、生絲の産出多し。其の他の地方は多くオリブ、葡萄酒等を産し、オリブ油、葡萄酒の製造行はれ、又多く硫黄及び良質の大理石を出す。國人一般に美術に長じ、繪畫、彫刻等世界の模範となるもの少からず。首府羅馬は國の中央に位し、昔の羅馬帝國の首府にして、宏大的なる建築物、其他歴史上の遺物甚だ多し。其の東南ネーブル

マルタ

ス灣に臨みてネーブルスあり。灣頭にベスビヤス火山を望みて風景頗る佳なり。又北部地中海岸にゼノアあり、此の國第一の貿易港たり。ベニスに嘗て盛大を極めし港にして、アドリヤ海沿岸の島上に在り。シシリー島の南にマルタ島あり、英吉利に屬し、軍事上の要地として著る。

沿革

伊太利の地は古代羅馬帝國の本國にして、文化夙に開け、其の名史上に著る。現今の伊太利國は凡そ五十年前の建國に係り、爾來國勢を振張し、世界強國の一として數へらるるに至れり。

バルカン半島諸國

位置・地勢

バルカン半島はダルダネル・ボスポロスの兩海峽を挟みて

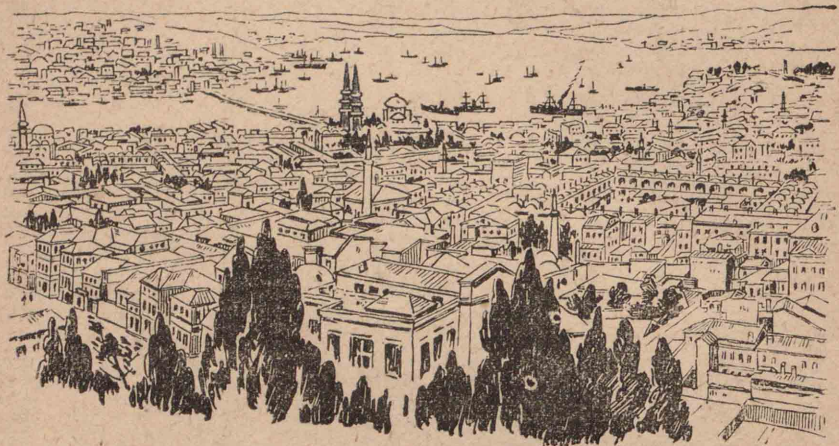
東南小亞細亞半島に對し、更に南に突出して希臘半島をなす。海岸の出入は南部最も著しく、東南の海上は島嶼に富みて多島海の名あり。内地は山脈相連互して山地甚だ多けれども、北部なるダニール河の流域には稍廣き平野あり、半島中主要の農産地たり。

區分

都邑

沿革

此の半島は數多の邦國に分れ、其中土耳其帝國の一部なる土耳其は中部の地を占め、希臘は希臘半島の大部と附近の島嶼とより成る。其他ブルガリヤ、ルーマニヤ等あり。土耳其の首府コンスタンチノブルはボスポロス海峡に臨み、黒海出入の關門たり。希臘の首府アテネは古代の遺蹟に富み、歴史上殊に有名なり。土耳其は小亞細亞の地に起り、一時は歐羅巴、亞細亞、亞弗利



ルアノチンタスニコ

加之三大洲に跨れる大帝國たりしが、其の後國勢漸く衰へ、バルカン半島内には希臘、ルーマニヤ等の獨立國を生じ、亞弗利加の領地に對しても殆ど統治の實權を失ふに至れり。又希臘は本洲中最も早く開けたる地にして、嘗て高度の文明に達したりき。斯くの如くバルカン半島には數多の邦國分立すれども、いづれも國勢甚だ振はず、且屢

歐洲外交上の問題を惹起せり。

第四 亞弗利加洲

位置・面積

亞弗利加は東半球の西南部に在りて、大西洋と印度洋との間に位し、北は地中海を隔てて歐羅巴に對し、東北はスエズ地峽によりて亞細亞に連る。面積凡そ亞細亞の四分の三に當り、世界第二の大陸なり。

地勢

地勢一般に高原をなし、山脈海岸に沿ひて相連れり。東部山地には大湖多く、ビクトリヤ湖最も大にして、其の水北に流れてナイル河となる。其の他コンゴ、オレンジ等數多の大河あれども、下流に急湍瀑布多きを以て、運輸の便を助くること大ならず。

氣候・産物



駝 鳥 フラジ 河 馬 犀

海岸は出入甚だ少く、又島嶼に乏し。されど印度洋のマダガスカル島は有名なり。

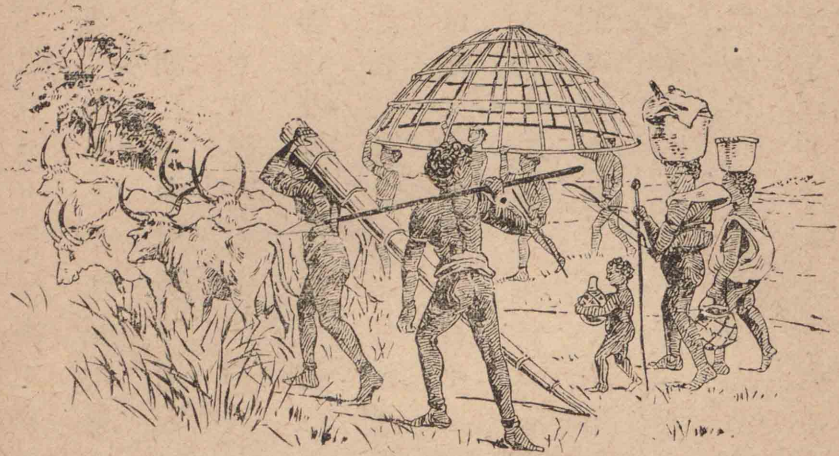
本洲は赤道の南北に亙りて大部分熱帯に在るが故に、一般に氣候甚だ暑く、中部には降雨多くして、樹木よく茂り、

住民

大森林をなせる所多し。南又は北に至るに随ひ、雨次第に少く、草地を経て遂に沙漠となる。殊に北部なるはサハラの大沙漠にして概ね荒地をなせども、稀に泉水湧き出でて植物の繁茂せる所あり。隊商は駱駝に乗り、此の所をたどりて貿易に従事す。然れども南北兩端の地方は氣候溫和、土地肥沃にして農業牧畜行はる。鑛物は未だ十分に探検採掘せられざれども、南部地方には金及び金剛石の産地として著名なる所あり。又本洲には動物の巨大なるもの、猛悪なるもの多く、其の著しきものを象、獅子、犀、河馬、ジラフ、駝鳥、鱷等とす。

本洲の住民は歐羅巴人種に屬するものと亞弗利加人種に屬するものとありて、總數凡そ一億二千萬に及ぶ。歐羅巴人種に屬するものは舊來主として北部の地に住せしが、近世

交通



黒人の風俗

歐羅巴より南部其の他海岸の要地に移住せしもの亦少からず。亞弗利加人種に屬するものは重に中部以南に住して、多くは未開の状態に在り。

本洲は開拓未だ普からず、一般に交通不便なれども、北部と南部とは鐵道の既に開設せられたる所あり。又此の兩部を聯結せんとせる縦貫鐵道も今まさに工事中なり。海運も亦南北の兩部に開け、殊にスエズ地峽

沿革

には長さ凡そ四十里に及べる運河ありて、東西兩洋間の交通に大いなる便利を興ふ。

本洲の地中海沿岸地方には太古既に文明の域に達し、早くより歐羅巴人に知られたる所あれども、サハラ沙漠以南の内部は嘗て之を探検せしものなく、地理久しく不明なりき。然るに凡そ五百年前、葡萄牙人來りて西海岸を探検し、其の後遂に喜望岬を回航して印度航路を開き、是より沿海の地大いに歐羅巴人の注目する所となれり。爾來探檢家屢、到りて、内部の地理漸く明かなるに至り、英、佛、獨等の諸國は争ひて本洲の各地を分領せり。されば獨立國の名を有するものは僅に二三の弱國あるのみ。

エジプトはナイル河の下流地方に在り、土耳其の領地なれ

エジプト



ピラミッド、スフィンクス

ども、其の實權は英吉利に屬す。ナイル河は夏毎に氾濫して、河畔の低地に肥えたる土を残すが故に、肥料を用ひずして多く穀物、綿等を産す。下流に首府カイロあり、本洲第一の都會なり。其の近傍にはピラミッド、スフィンクスなど古代文明の大遺物多し。地中海に臨めるアレキサンドリヤ

アビシニヤ

は名高き貿易港にして、スエズ運河の北端なるポートサイドは交通上の要地なり。

アルゼリヤ
モロッコ

アビシニヤはエジプトの東南なる獨立國にして、山脈國內に亙り、地勢甚だ高峻なり。本洲の西北部には地中海に臨みてアルゼリヤ及びモロッコあり。アルゼリヤは土地肥え農産物豊にして、本洲に於ける佛蘭西の領土中最も重要な地たり。モロッコはアルゼリヤの西に隣れる獨立國なり。

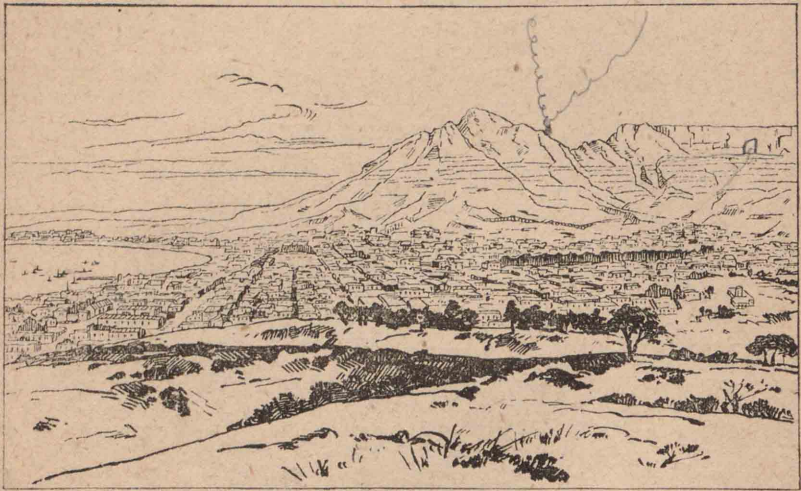
リベリヤ
白耳義領
コンゴ

リベリヤは本洲北部の西南隅に位し、黒人の建てたる獨立國なり。白耳義領コンゴはコンゴ河の流域に在りて、護謨象牙等の産出多し。

ケープ殖民

ケープ殖民地は本洲の南部に在り、本洲に於ける英吉利の

地・トラン
スバール



ケープタウン

領地中最も重要な所にして、羊毛・駝鳥等の産多し。首府ケープタウンは西南端に在り、喜望岬其の南に突出す。北部のキンバリーは金剛石の産地として著る。ケープ殖民地の東北に當りてトランスバールあり、亦英吉利の殖民地にして、有名な金産地たり。

第五 北亞米利加洲

總論

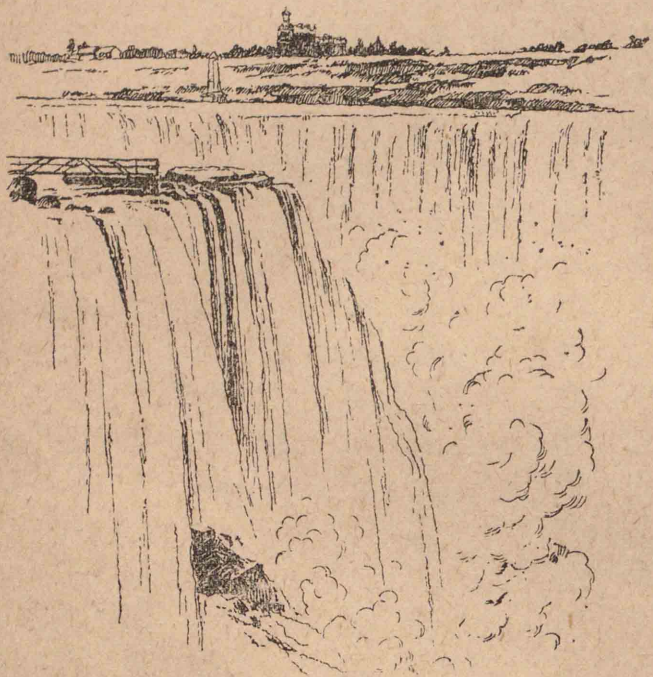
位置・面積

北亞米利加は西半球の北部に在り。南はパナマ地峽を以て南亞米利加に連り、西北はベーリング海峽を隔てて亞細亞に對す。面積約百六十萬方里あり。

地勢

本洲の西部はロッキー山脈及び之に竝走する數多の山脈ありて一帯の高地をなす。東部にも亦アパラチャ山脈の高地あれども、西部の如く高峻ならず。此の山脈の東側なる大西洋岸には稍廣き一帯の平野あり。東西兩高地の間は本洲を縦貫する大平原にして、湖沼甚だ多く、中にもスペリオル・ミシガン・ヒューロン・エリー・オントリオの五湖最も名あり。是等の水相連り、遂にセントローレンス河となりて東北に流る。エリー・オントリオ兩湖の間には名高きナイヤガラ瀑布あり。ミシシピ河は源をスペリオル湖の西方に發し、ロッキー山

脈より出づるミズーリを合せて南に流る。其の長さ凡そ一千七百里、世界第一の長流なり。



布 瀑 ラ ガ ヤ イ ナ

太平洋岸の地は大いなる出入に乏しけれども、大西洋及び北氷洋の沿岸は出入著しくして、南に墨西哥、北にハドソンの二大灣あり。墨西哥灣の東方には大小數多の

氣候

産業

島嶼あり、之を西印度諸島といふ。ハドソン灣以北にも島嶼多けれども、寒氣厳しくして、住民甚だ稀に、世界第一の大島なるグリーンランドの如きも唯南部の海岸に少數の住民あるに過ぎず。本洲の西北隅、太平洋と北氷洋との間に挟まれる所をアラスカ半島と名づく。

氣候は所所一様ならざれども、一般に西岸は東岸よりも暖にして、内地は寒暑の差多し。又西部の高地には雨少く、沙漠をなせる所あり。

西海岸の山地及び東北部地方には森林多くして、野生の獸類亦少からざれども、中部の平原地方は土地大いに開けて農業・牧畜盛に行はれ、本洲原産の玉蜀黍・煙草を始として他大陸より移されし小麥・綿等を産すること頗る多し。又東西

住民

兩岸の北部は水産物に富む。鑛物は各大洲中最も豊富にして、金・銀・銅・石炭・石油等の採掘甚だ盛なり。

人口は凡そ一億一千万に及び、多くはもと歐羅巴より移住せしものの子孫にして、其の他は亞弗利加より移されし黑人及び亞米利加土人・エスキモ



亞米利加土人

交通

本洲の東部は水陸共に交通の便に富み、殊に鐵道の發達は世界稀に見る所にして、歐羅巴との交通も亦甚だ頻繁なり。西海岸地方は大陸を横斷する數條の鐵道によりて東部地方と相通じ、又所所に太平洋航路の要地あり。

沿革

本洲は四百餘年前、コロンブスが其の一部を發見せし以來、歐羅巴諸國の人次第に入來りて、多くの殖民地を興したりしが、是等の殖民地は其の後概ね本國より離れて、數多の共和國を形成するに至れり。其の主なるものを亞米利加合衆國及び墨西哥とす。

加奈陀

位置面積
人口

加奈陀は殆ど本洲の北半を占め、面積凡そ六十二萬方里、人

産業

口凡そ六百萬、東岸のニューフウンドランド島と共に英吉利に屬す。住民は重に英吉利より移住せしものの子孫なり。北部は産物に乏しけれども、南部地方は農業、牧畜よく行はれ、林産物に富む。又ニューフウンドランドの近海は漁業の盛なるを以て有名なり。我が國との貿易は次第に盛況に向ひ、我が國より茶を輸入すること少からず。

都邑

首府オタワはセントローレンス河の支流に臨み、木材の集散甚だ盛なり。モントリオールはセントローレンス河中の島上に在り、加奈陀第一の都會なり。又大西洋岸の不凍港なるハリフクスは太平洋岸のバンクーバーと共に横斷鐵道の兩端をなす。バンクーバーは東洋航路の重要なる港にして、附近に本邦人の居留するもの甚だ多し。

亞米利加合衆國

位置面積
人口

亞米利加合衆國は東大西洋岸より西太平洋岸に至れる中部一帯の地及びアラスカ半島布哇を含み面積凡そ六十萬方里、人口凡そ八千四百萬あり。

産業

本洲大平原の一部なる中部地方は農業牧畜盛にして、世界に於ける小麥綿の重なる供給地たり。又國內一般に鑛産物に富み、鐵石炭石油金銀銅等の産額殊に夥し。是等産物の豊富なることは延いて工業の發達を促し、製鐵紡績製粉等甚だ盛なり。外國貿易は英獨の次に居り、輸出品の重なるものは綿麥類肉類鐵材及び鐵製品等にして、輸入品の重なるものは砂糖藥品類革類珈琲等とし、英獨加奈陀等との貿易甚だ盛なり。我が國の重なる取引先にして、綿鐵材及び鐵製品

都邑



石油麥粉等を我が國に輸出し、生絲茶羽二重花筵等を我が國より輸入す。

紐育の市の街

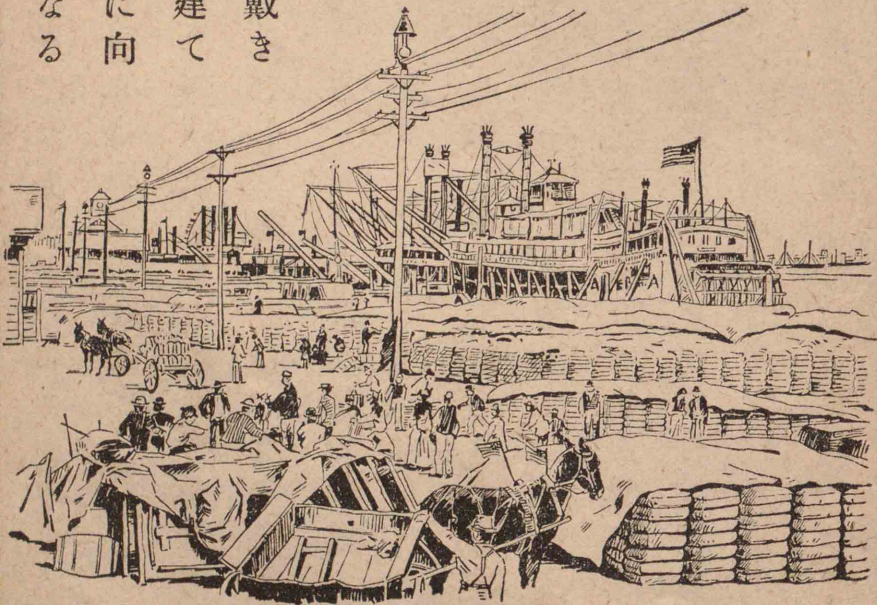
大西洋岸の平野は國內の最もよく開けたる所にして、繁盛なる都會多く、其の最も大なるを紐育とす。人口凡そ四百萬

貿易盛に行はれ、倫敦に次ぎて世界第二の都會たり。其の東北なるボストンは主要の貿易港にして、又學藝の盛なる所とす。更に其の東北のボーツマスは日露講和條約の締結地として有名なり。紐育の西南にはフレデルフィヤあり、工業甚だ盛にして、石油の輸出多し。其の西南に首府華盛頓あり、壯麗なる建築物多し。

中部の平原にはミシガン湖に臨みてシカゴあり、此の國第二の都會にして、穀物肉類の大市場なり。又ミシシピ河の主流に臨めるセントルイスは内地の重なる市場にして、下流のニューオールリヤンスは綿の輸出を以て名あり。太平洋岸にてはサンフランシスコ(桑港)・シヤトルの二港最も著れ、共に大陸横斷鐵道と太平洋航路との重なる接續點にして、我が

沿革

國汽船の航路に當り、附近には本邦人の在留するもの甚だ多し。此の國はもと歐羅巴諸國の分領する所なりしが、今より凡そ百三十年前、大西洋岸なる英國殖民地の住民相協同し、ワシントン戴きて獨立を圖り、共和國を建て、以來、國勢次第に隆盛に向ひ、遂に現今の如き廣大なる



出輸の綿のシヤトル

墨西哥

國家を形成し、世界強國の一に數へらるるに至れり。

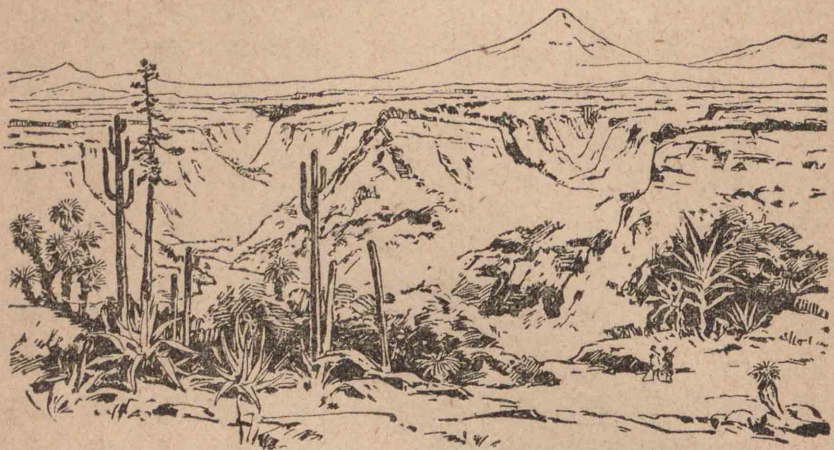
墨西哥・中央亞米利加諸國・西印度諸島

墨西哥は亞米利加合衆國の西南に接し、東は墨西哥灣に臨み、西は太平洋に面す。面積凡そ十三萬方里、もと西班牙の領地たりし所にして、住民は西班牙人・土人及び其の雜種より成り、總數凡そ一千四百萬に及ぶ。

地勢は全國一大高原にして、海岸に狹き平野あり。南部は熱帶に入るを以て、海岸の平地は一般に炎熱甚だしけれども、内地の高原は概ね溫和にして、住民の多くは此の所に在り。生業は鑛業及び農業を主とし、銀の産出甚だ多し。首府墨西哥は海面上七千尺の高原に在り。東南部にテワンテペク地峽あり、東西洋を連絡する鐵道を通じ、交通の要地として著

中央亞米利加諸國

西印度諸島



墨西哥高原

る。中央亞米利加は墨西哥の東南に連れる細長き地方にして、面積凡そ墨西哥の四分の一に當る。嘗て西班牙の領地なりしが、今は六小共和國と英吉利の領地とに分る。中につきてパナマ共和國は有名なるパナマ地峽の在る所にして、此の地峽を横斷する運河は今まさに工事中なり。

西印度諸島は墨西哥灣口より

東南に連りて、大陸との間にカリブ海を抱き、キューバ島最も大なり。此の島はもと西班牙の領地なりしが、近年獨立して共和國となれり。土地よく開けて多く砂糖・煙草を産す。其の他の諸島は概ね英吉利・佛蘭西・亞米利加合衆國等の分領する所なり。

第六 南亞米利加洲

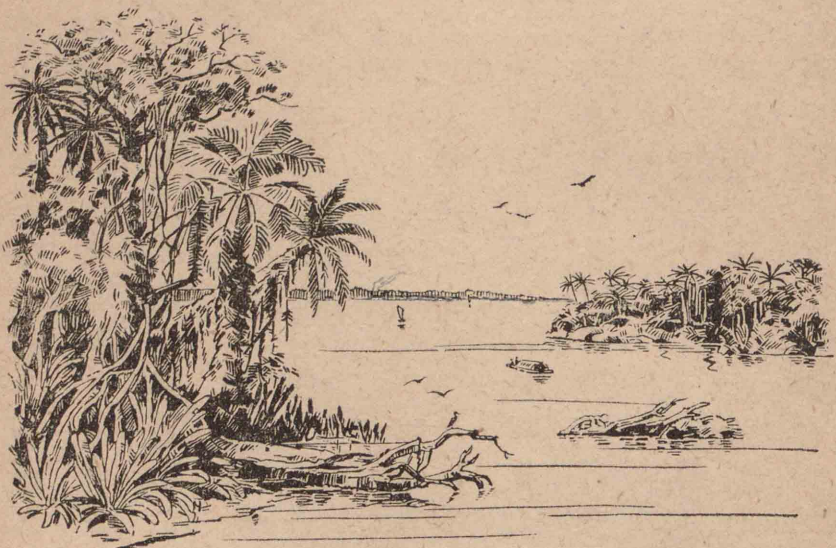
位置・面積

南亞米利加は北亞米利加の南に連りて、大西洋と太平洋との間に在り。面積は北亞米利加より稍狭く、凡そ百二十萬方里あり。

地勢

地勢は亦西・中・東の三部に分る。西部にはアンデス山脈太平洋岸に沿ひて南北に連り、東部にも一帯の山地ありて西部

氣候・産業



アマゾン河の畔の森林

山脈との間に大平原を抱き、アマゾン・ラプラタ等の河流此の平野を流れて大西洋に入る。中にもアマゾン河は世界の大河として有名なり。

本洲は大部分熱帯中に在るを以て一般に氣温高く、又雨多くして植物よく生育し、殊にアマゾン河の流域には大森林あり。本洲は珈琲・規那・カカオ・護謨等を

住民

産すること多く、羊リマアルバカ等の牧養所所に行はれ、西部地方は銀・硝石等に富めり。住民は重に西班牙・葡萄牙より移住せし白人の子孫及び土人にして、黑人亦少からず。總數凡そ四千五百萬、面積に比すれば其の數甚だ少し。

沿革

本洲は八九十年前までは大抵西班牙・葡萄牙兩國の領地なりしが、後殆ど全部の地は獨立して數多の共和國を建つるに至れり。是等の諸國は概ね開化の程度高からず、未開の地も亦甚だ多く、其の開拓は文明諸國の大いに注目する所なり。

哥倫比亞
ベネズエラ
ギヤナ

哥倫比亞は本洲の西北隅を占め、首府ボゴタは海面上八千六百尺の高地に位す。ベネズエラは哥倫比亞の東に在り。ギ

伯刺西爾



取採の珈

ヤナは更にベネズエラの東南に接する地方にして、英吉利・和蘭・佛蘭西の三國之を分領す。伯刺西爾は本洲中最も廣き國にして、其の面積五十餘萬方里、人口凡そ二千萬あり。國の西北部アマゾン河の流域は森林多くして住民甚だ稀なれど

も、東南部は土地大いに開けて多く珈琲・砂糖・綿等を出し、殊に珈琲は其の産額世界第一に位す。首府リオデジャネイロは大西洋岸の良港にして、珈琲の輸出甚だ盛なり。其の西南なるサンパウロは珈琲産地の中心として著る。

ハラグアイ・ウルグアイの二國は伯刺西爾の西南に接する小國にして、ウルグアイの首府モンテビデオは大西洋岸の良港なり。

亞爾然丁あるせんちんは大西洋岸の南部を占め、アンデス山脈を



羊の市場

ハラグアイ
ウルグアイ

亞爾然丁

境として智利と相背けり。氣候概ね溫和にして、平野遠く連り、農業・牧畜の盛なること本洲第一に位し、小麥・羊毛等の輸出甚だ多し。首府ブエノスアイレスはラプラタ河の口に臨み、本洲第一の都會なり。本洲の横斷鐵道は此の地に起り、アンデス山脈を横ぎりて太平洋岸に達す。

智利は太平洋に面せる細長き國にして、鑛産物に富み、又其の中部よりは農産物を出す。中にも硝石は此の國第一の富源にして、各國へ輸出し、其の我が國に輸入せらるるもの亦少からず。首府をサンチャゴといふ。其の西北のバルパライソは太平洋岸の良港にして、横斷鐵道の西端に當れり。

ボリビヤは伯刺西爾の西方内地に位し、秘露・エクアドルの二國は相並びて太平洋に臨む。秘露の首府をリマといひ、エ

智利

ボリビヤ・秘
露・エクア
ドル

クアドルの首府をキトーといふ。キトーは赤道附近に在れども、九千餘尺の高地に位せるを以て氣候溫和なり。

高等小學地理卷一 兒童用終

佐伯 秋生

高等小學地理 一
定價金八錢

明治四十二年十二月五日印刷
明治四十二年十二月九日發行
明治四十二年十二月十五日翻刻發行
明治四十二年十二月十五日翻刻發行

著作權所有

著作兼
發行者

文 部 省

翻刻發行者

大阪書籍株式會社

代表者 三木 佐助

印刷所

大阪書籍株式會社

大阪市南區雜波菅原町千百八十八番地ノ九

明治四十四年十一月廿一日
文部省檢査濟

發賣所

東京市日本橋區新右衛門町十六番地
株式會社

國定教科書共同販賣所

